



學び舎に魂合わせ

令和8年10月16日（金）
第5号（2学期）
伊那市立東部中学校
作成 松坂 真吾

素敵な文化祭、ありがとうございました！



『全力共創～本気が響き合う最高のステージ～』をテーマに準備してきた、第58回すず竹祭が10月2日（金）、3日（土）の二日間で行われました。

1日目は、無気力ウィルスが東部中に蔓延し、我々の学校生活を取り戻す為に!?開会が宣言され、すず竹祭が始まりました。全校企画のステージバックの披露や総合発表、バラエティーショー、部活動発表（演劇部、吹奏楽部）が行われました。練習を積み重ねた素晴らしいパフォーマンス、部活動ならではの質の高い発表に、全校生徒が感動しました。総合発表は学年ごとに行われ、昨年よりも探究的な学びを意識した内容になっていました。

また、展示発表では、日頃の学習の成果や美術部、科学部、技術部の作品等を見ることができました。

2日目の合唱祭（コンクール形式）は伊那文化会館で行われました。合唱部のステージ、クラス合唱、学年合唱等がありました。東部中らしい大人数の合唱の迫力、毎日のように練習を重ねてきたことによるすばらしい音色に、会場中が感動に包まれました。

・中学校生活最後となるすず竹祭は、最高の思い出になりました。準備段階からクラスみんなで声を掛け合い、試行錯誤しながら作り上げた合唱は、全員の「本気」が一つになった瞬間でした。行事を通して深まった絆を大切に、次の体育祭でも全力で駆け抜け、中学最後の1年を「本気」で楽しみたいと思います。(3年生)

・練習の成果を存分に発揮し、自分たちが満足のいく合唱を届けることができました。先輩方の圧倒的な歌声と表現力には本当に感動しました。最高の2日間でした。(2年生)

・初めての文化祭でしたが、クラス全員で力を合わせて歌いきることができました。先輩方の迫力ある綺麗な歌声に憧れました。来年も頑張りたいです。(1年生)

1710 パート3 その五

文化祭は非認知能力のかたまり！

文化祭と非認知能力について、書いたところ毎年、反響を頂きます。今年もその続編です。

去年は、「文化祭のアドリブが窮地を救った」エピソードをきっかけに、文化祭で求められる資質・能力について考えました。今年もこんなドラマがありました。

7月、吹奏楽部の生徒が教頭のもとを訪れました。「コンクールやすず竹祭で良い演奏をしたい。顧問の先生との方向性や練習、コミュニケーションについて力を貸してほしい」という相談でした。生徒たちは「思いが伝わるように話す」「うまくいかないことを簡単に他人のせいにしない」と心に決め、定期的に意見交換の場を重ねていきました。自ら課題に向き合い仲間と協力する中で育まれたのは、まさに数値では測れない「非認知能力」でした。そして迎えたすず竹祭当日、ステージで披露された素晴らしい演奏は、吹奏楽部の大きな成長を象徴していました。

<参考>※昨年も掲載

① 自分自身の内にある力

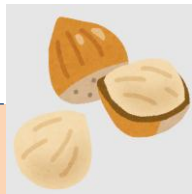
がまんをする、あきらめない、目標に向かってがんばる、最後までやり遂げる、新しいアイデアを生み出す、挑戦しようとする、失敗しても立ち直れる、自己肯定感をもつ、感情をコントロールするなど

② 自分以外の他者と関わる力

協調しながら物事を進める、他人の意見を尊重する、人の気持ちに共感する、相手の立場になって考える、コミュニケーション能力、思いやりをもつなど

この非認知能力には、「社会のさまざまな問題を解決する可能性がある」「状況を的確に判断し自ら考えて行動する力は、これからの時代を生き抜くためには非常に重要」と認識されつつあり、就職活動や大学入試においても人格や人間力をみる試験に移行しつつあります。

昨今、「褒めて伸ばす」なんて言われますが、非認知能力との関連もあると思います。そう考えると、「子ども自身が興味をもったことは積極的に取り組めるようにする」「子ども自身が決める」という経験をさせ、「失敗しても前向きな声をかけサポートする」「がんばっている経過を褒める」という価値にも目が向けられそうです。



10月19日～11月30日読書月間

11月の主な予定

2～4日 3年修学旅行(5、6日3年休業日)

9日(月)、10日(火) 2学期期末テスト

3年実力テスト⑤